

## 第 15 回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成 22 年 3 月 29 日(月) 10:00 ~ 12:00
2. 場所 主婦会館 プラザエフ 7F 「カトレア」
3. 議題
  - (1) 排出量の推計方法の改善について
  - (2) 発生源品目「その他等」について
  - (3) 法令取扱分類別 VOC 排出量の推計について
  - (4) VOC 排出インベントリに係る中間評価の結果について
  - (5) その他

### 4. 出席者

委員：指宿委員長代理、久米委員、柴田委員、高戸委員、野中委員、山口委員、鎌滝氏(大石委員の代理)、矢野氏(泉委員の代理)

オブザーバー：高坂氏(日本クリーニング環境保全センター)

環境省：山本大気環境課長、山田大気環境課長補佐

事務局：株式会社環境計画研究所

### 5. 議事内容

事務局より、「排出量の推計方法の改善(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 塗料、接着剤、工業用洗浄剤の推計方法は、関連団体から見て、改善案による推計方法で問題ない。
- ・ 工業用洗浄剤の推計において、時間的に断続して得られるデータを利用して、経年変化を推計しているが、今後もこのようなケースがあり得ることから、データの利用方法を統一することが望ましく、(1)複数のデータの期間内については内挿して滑らかにする、(2)最新データ以降の年については、最新データから変化がないという扱いで統一する。

事務局より、「新たな発生源品目「その他溶剤等」について(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ VOC 排出インベントリにおいて、全ての発生源や排出量を網羅することは困難であり、「その他溶剤等」のような量が発生することは、認識しておく必要がある。
- ・ VOC 排出インベントリの目的として、排出抑制対策の評価が挙げられているが、「その他溶剤等」については、排出抑制対策や評価の対象とすることが困難であることから、VOC 排出インベントリにおける発生源品目とはせず、参考推計の対象とすることが適当である。

事務局より、「法令取扱分類別 VOC 排出量の推計(案)」について説明があり、議論が行われた。

主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 平成 18 年度から平成 21 年度にかけて届出施設数が増加しているのは、届出の漏れが徐々に解消されていったことも影響していると考えられる。
- ・ 平成 18 年度から平成 21 年度にかけて規制対象施設からの VOC 排出量が増加しているという計算結果は、経済環境や排出抑制対策の進捗から考えて、奇異に感じられる。
- ・ 稼働時間が同一であっても、生産量が同一であるとは言えない。生産調整の一環として、時間当たりの生産量を意図的に下げる例もあるため、稼働時間以外にも、実態としての稼働率にも配慮が必要である。
- ・ 今後、大気汚染防止法に定める立ち入り検査の実施等により、VOC 排出濃度についても、精度が向上すると考えられることから、今後、それらの情報を反映した推計を検討すべきである。

事務局より、「VOC 排出インベントリに係る中間評価(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 中間評価結果の文言は一部表現を改める必要があるが、推計方法は原則固定化する。
- ・ VOC 排出インベントリにおいては、未だ成分が不明な混合溶剤等があり、成分を明らかにして行くことが望ましいものの、多くの石油製品では成分を特定することがない等の背景もあることから、オキシダント生成能等により、解明すべき物質グループの優先度を設定する等、段階的に調査を実施することが望ましい。

事務局より、「VOC 排出量推計の暫定結果」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 暫定結果は VOC 排出抑制の目標である平成 12 年度比 30%程度削減を上回る削減を示しているものの、経済環境の悪化の影響が大きいと考えられ、今後、経済環境の好転により、削減量が再び増加する可能性も考えられる。また、オキシダントの生成には、NO<sub>x</sub> と VOC のバランスの問題や、越境大気汚染、生成能の問題等様々な要素があり、これらを考慮した検討を行うとともに、VOC 排出インベントリを継続的に作成し、排出量削減の確認を続けてゆく必要がある。

事務局より、「モニタリングデータとの比較結果」、「PRTR 届出排出量との比較結果」、「VOC 排出量の変動要因の解析」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 参考資料 3 の内容については、十分な精査を経た後に報告書に記載することが適当であり、今年度報告書には記載しない。

< 配付資料 >

委員名簿

第 15 回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 座席表

資料 1 第 14 回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

資料 2 排出量の推計方法の改善(案)

資料 3 新たな発生源品目「その他溶剤等」について(案)

資料 4 法令取扱分類別 VOC 排出量の推計(案)

資料 5 VOC 排出インベントリに係る中間評価(案)

資料 6 VOC 排出量推計の暫定結果

参考資料 1 モニタリングデータとの比較結果

参考資料 2 PRTR 届出排出量との比較結果

参考資料 3 VOC 排出量の変動要因の解析

以上